



# せいひ会だより

2017年(平成29年)  
3月1日発行  
<第203号>  
社会福祉法人せいひ会  
<http://www.seihikai.jp/>



2/3の節分、デイサービスセンター丘の家で行われた豆まきの様子です。  
酉年生まれの福男と福女の方は袴を着て登場。豆まき口上を唱えると、ご覧のような怖い怖い鬼が暴れ出します。  
「本物の鬼みたい!」「怖い〜!」と言いながら、皆さん一斉に豆をまいて邪気払い。豆まきの後は、節分に関するクイズ大会で大盛り上がり! おやつに甘納豆やチョコレートをおなかに収め、大満足の皆さんでした。

## 2月の行事

- 03日 節分(各事業所)
- 17日 運営推進会議(GH)
- 22日 運営推進会議(通所)
- 27日 夜間想定避難訓練(じゅげむ)
- 27日~3月中旬 コミュニティセンター元亀作品展示会

## 3月の行事予定

- 03日 ひなまつり(各事業所)
- 16日 運営推進会議(寿限無)

## 感染症予防について

インフルエンザ等の感染症予防の  
為、施設来苑時の手指消毒、マスク着用をお願い致しておりますと  
ともに、面会場所などを限らせて  
頂く対策を継続中です。  
皆様のご理解とご協力をお願い申  
上げます。

## 2月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます



山本 敬子様 金子 まし子様 畑原 和子様 巖本 マサエ様 松尾 タカ様 大川 光代様 南 ツル様



塩崎 ユキエ様 志田 シズ様 谷本 嘉市様 南條 トモ子様 嶋田 トエ様 森 トエ様



瀬川 スエノ様 高尾 恵子様 田代 カズエ様 荒木 ハツヨ様 松永 サダ子様 一瀬 ナヲ様

パーズディン鉦ビュー



山本 一枝様



川崎 スイ様



小川 ハツ子様

今回は小規模多機能じゅげむ：山本一枝様にお話を伺いました

昭和8年、長崎駅前の西坂町、現在のNHK長崎放送局の目の前のところで私は生まれました。そこで12歳の時に被爆。昭和20年8月9日、この日は朝から空襲警報の鳴り響く、暑い日でした。防空壕に入っておりましたが、昼前に警報解除となり、家に戻ってお昼ごはんを食べようとしているときでした。『ドーン!!』というとても音と光に包まれて、訳が分からなくなりました。気が付くと、倒れたタンスと壁の隙間に私は倒れ、足にけがを負っておりました。家族は全員一命を取りとめました。父はこの3年後に他界、母は入院生活となりました。14歳となった私は、弟を食べさせるためもあって、奉公に出ることにしました。ここでは世の中の厳しさを、身をもって知ることにもなりました。そうこうしているうちに母も他界してしまいました。

そして、昭和26年に結婚、3人の子供に恵まれました。戦後の世の中は活気もありましたが、厳しくもあり、次々にやってくる問題をその都度「何くそ!!」という気持ちで乗り越えてきました。13年前に主人は先立ちましたが、私は今も台所に立って炊き物をしたり、洗濯したり、じゅげむに通ったり、忙しい日々を元気に過ごせています。孫たちも時々遊びに来たりして、忙しくも穏やかな時を感じる今が、つくづく幸せだと感じる今日この頃です。

被爆体験も交えながら、今現在のこともたくさん語っていただきました。これからも、元気に穏やかに過ごしてください。

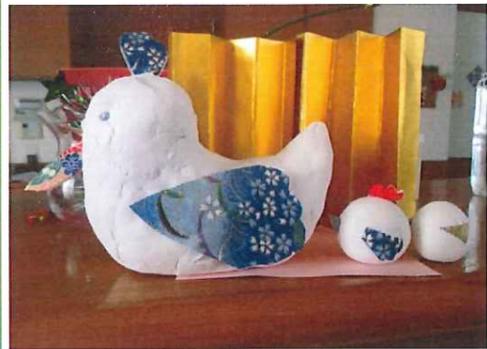
# Vitality Space

バイタリティー・スペース

『ひなまつり壁飾り』  
季節を先取りした、春らしい作品に仕上がりました。



寿限無：松江恵美子



『紙粘土のとり』  
今年の干支にちなんだ、かわいらしい様子が素敵です。

風和：西ユニット

『巻物貼りの赤富士』

よく見ると、巻物が一つ一つ丁寧に貼り付けられています。色のコントラストが鮮やかです。



風和：北ユニット

天地人  
天智人  
山脇良人

通所：山脇良人

花も美しい  
月も美しい  
それ以上に心も美しい  
秋浦克敏

通所：秋浦克敏



風和：平野マサ

節分  
竹下晶子

通所：竹下晶子



『貝がら工作』  
貝殻を色々な形に組み合わせました。

グループホーム利用者

## 新人職員紹介



元亀の里  
朝野 光代さん

元亀の里で看護職員として働かせてもらっています。一つずつ色々なことを覚えていき、皆様のお役にたてるよう努めていきますのでどうぞ宜しくお願いします。



## 元亀の里トレーニング紹介

### ①ローイングの巻



次回  
『ヒップ・アブダクションの巻』

両肩～肘にかけての筋力UP！物を持ったり、引っぱる動作がしやすくなるよ。



## 節分

じゅげむ



真っ赤な鬼ロボットの出現に皆様拍手喝采！「鬼は外!!福は内!」の掛け声で、鬼退治が開始されました。鬼ロボのお腹や目の穴めがけて玉を投げ入れ、動けなくなった鬼は退治されてしまいましたとさ。



職員が扮した赤鬼・青鬼が登場すると、「この豆は私んとやけん、投げん!」と言われる方や、ここぞとばかりに、容赦なく豆を投げる方などさまざま。最後は鬼と一緒に笑顔で記念撮影。



お昼ごはんに太巻きを食べた後は、各ユニットで豆まき。「鬼は外!福は内!」と大きな声で言いながら、豆の代わりに甘納豆や紙のボールを、鬼に目がけて投げました。

## 野菜収穫



寿限無の利用者・松江様が、毎朝欠かさず水やりをして育てていたブロッコリーが、収穫の時期を迎えました。次回はもっとたくさん収穫できるように、御本人の気合いも十分!次の収穫までの観察と成長を楽しまれています。

## GH運営推進会議



平成28年度自己評価の結果報告、平成29年度運営推進会議の取り組み目標等を議題として会議を開催、利用者や御家族、地域の方々にもご参加いただきました。

ずいずい  
随・随

## ずっころばし

せいひ会の職員が、思うがままをリレー方式で綴るコーナー。今月は、せいひ中央クリニック・木下先生です。

昨年4月から『せいひ中央クリニック』に就職させて頂いた71歳の医師です。この年になると、当たり前ですが、体力だけで無く記憶などの知的能力も衰えを感じ、年齢の重みを『ヒシヒシと感じている』頃になりました。しかし、最近になり『心境の変化』とでも言うか、不思議な感覚を覚えています。格好良く言えば、『無意識のうちに全てを受け入れている様な感じ』がして来たのです。特に意識や無理などはしていませんが、何かに付け『有り難い!』と思う事が増えてきました。思い返しても特に宗教的な影響なども無いのに、自分の気持ちとしては『何となく自然に』、全てのものに感謝する様に思えるので

す。ただ単に色々な事を忘れてる認知障害なのかも知れないのですが? もちろん、毎日の生活の中には、嬉しい事も、残念な事も、恨めしいと空を見上げる事もありますが、空を見上げた時に、『きれいな雲だな! 金星と火星が並んで見ると、今生きてこれが見られるのが有り難いな!』また、『職場や、近所でも良い人に恵まれて幸せだな』と思えるのです。兎にも角にも、私は『今の時点で生きて居られるのが有り難い。』と思う様になりました。単なる老人の戯言かも知れませんが、これからどうなるかも全く解りません。